

2011年5月25日

市川市長 大久保博様

日本共産党市川市議団

### 福島原発による放射能汚染、被災者支援に関する申し入れ

東日本大震災から2ヶ月を経過したものの、その後の福島第一原発の放射能漏れ事故も重なり未だに被害の全容は明らかにならず、全面的な復興の見通しも、原発事故の収束の目処も立っていません。

本市においても家屋の一部損壊などの被害が出ており、また放射能汚染・被爆の不安をかかえながら市民は生活しています。被害を受けた市民から復旧に向けた支援を求める要望が出ています。また、放射能の影響を受けやすいとされる小さな子どもを抱える家庭では「外で遊ばせられない」という声も出ています。柏市や松戸市でも高い放射線量が観測されています。市民の不安が高まるのは当然です。

よって以下の事項について早急に検討し実現していただくよう申し入れるものです。

#### 【要望項目】

- 1、放射能汚染問題について、外部被ばく、内部被ばくを避けるために市民、特に子どもが日常生活で気をつける点をまとめ、学校などで広く広報すること。
- 2、学校や保育園、公園などの公共施設、幼稚園において継続的に放射線量の測定を行い、結果を公表すること。また、放射線量が高い場合は、地表を除去し、土壌の除染を図ること。
- 3、給食食材、水道水、下水等の放射線量の測定モニタリングを実施すること。
- 4、除染作業等にかかる費用は国や東電に対し、補償を求めること。また、国に原発の収束の見通しを示すよう申し入れること。
- 5、被害住宅の復旧にも対応できる市独自の住宅リフォーム助成制度を創設すること。
- 6、義援金募金に引き続き取り組み、市川市に避難して来た方に独自の見舞金を支給すること。

以上